



ちかけんプロダクツを視察する参加者

がまだせ竹業界!さらなる竹産業の振興を 第59回全国竹の大会熊本県大会

「がまだせ熊本!がまだせ竹業界」をテーマに第59回全国竹の大会熊本県大会(山崎清登実行委員長)が11月14日から15日まで開催され、全国から竹とタケノコのプロフェッショナルたち約270人が熊本の地に集結しました。

14日はホテル熊本テルサで式典、基調講演、分科会が行われ、(株)ヤマチク(久重)の山崎清登代表取締役社長に林野庁長官感謝状が贈られました。

また、分科会「竹材部会」では、(株)ちかけんプロダクツ(関町)の三城賢士代表取締役が取り組みを発表。15日は南関町で現地視察研修が行われ、(株)バンブーフロンティア(下坂下)と(株)ちかけんプロダクツの2社を約50人が訪れました。



左から北島社長、内田副社長、浦島知事、佐藤町長

地元と共に成長・発展を アイシン高丘(株)、エイティー九州(株)工場増設に伴う調印式

11月21日、アイシン高丘(株)、エイティー九州(株)(下坂下)の工場増設に伴う立地協定調印式を熊本県庁で行いました。

今回の協定は、親会社であるアイシン高丘(株)とエイティー九州(株)が共同で約8億円を投資し、下坂下のエイティー九州(株)の工場敷地内に自動車部品の鋳造工程および加工工程の製造ラインを増設する計画です。

調印式では、浦島都夫県知事を立会人にアイシン高丘(株)の内田信隆代表取締役副社長、エイティー九州(株)の北島哲也取締役社長、佐藤町長が協定を交わしました。調印式で佐藤町長は「トヨタ九州の重要拠点としてますます発展していただきたい」とあいさつし、北島社長は「これからも地元と一っしょに成長・発展していきたい」と述べました。



優勝した関村チームの皆さん

関村チームが初の栄冠!! 第42回南関町駅伝大会

町は南関町駅伝大会を12月2日、農村広場を発着とするコースで開催しました。師走の恒例行事となり今回で42回目。15チームが出場し、12区間26・5キロのコースをタスキでつなぎました。

この日は天気恵まれ、晴天の中選手たちは白熱したレースを展開。タスキをつなぎ全力で走り切る姿に、沿道からはたくさんの方々が応援を送られました。

結果は、関東、久重チームの強豪を抑え、関村チームが初優勝。序盤から上位につき、そのままの流れでタスキをつなぎ、見事栄冠に輝きました。

また、関村チームは、昨年より7分20秒タイムを短縮し、躍進賞ともに制覇しました。

監督の橋本一郎さんは、「選手たちがプレッシャーをはねのけ最後までトップを貫き、優勝につながったことが嬉しい」と喜びを語りました。

区間賞 (敬称略)	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区
	岡本 春樹 (肥猪・肥猪町)	中島 維吹 (久重)	伊藤 晃志郎 (関村)	嶋永 健一 (関町下)	坂井 優仁 (関町上)	大木 琥太郎 (肥猪・肥猪町)	栗山 健太郎 (関町上)	黒肥地 健琉 (関村)	松永 真哉 (上坂下)	黒肥地 勇也 (関村)	堀島 まゆ (久重)	津留 健太郎 (関東)

成績	順位	チーム名	タイム
	1位	関村	1時間 33分 31秒
	2位	関東	1時間 34分 00秒
	3位	久重	1時間 38分 44秒
	4位	肥猪・肥猪町	1時間 42分 03秒
	5位	細永南・西豊永	1時間 44分 05秒
	6位	関町下	1時間 44分 22秒
	7位	関下・細永	1時間 44分 58秒
	8位	相谷・向原	1時間 45分 54秒
	9位	上坂下	1時間 50分 00秒
	10位	小原	1時間 52分 54秒
	11位	下坂下	1時間 54分 31秒
	12位	東豊永	1時間 55分 37秒
	13位	四ツ原	2時間 00分 29秒
	オープン	関町上	1時間 53分 08秒
	オープン	坂下合同	1時間 59分 04秒

九州大会出場を報告 小学生ソフトテニス

A-lifeなんかに所属する南関ジュニアソフトテニススクラブの猿渡菜々美さん(関下)、多田隈綾乃さん(上坂下)、橋本明さん(関下)、橋本祈さん(関下)が11月20日、雪野副町長を訪問。11月24日から25日にかけて開催された第13回九州小学生ソフトテニス選手権大会(福岡市)への出場を報告しました。

選手たちは「初めての大会なので、他の選手の技を勉強したい」、「自分の役目を果たし、みんなで勝ち抜きたい」などと、大会への意気込みを語りました。



左から副町長多田隈さん、猿渡さん、橋本明さん、橋本祈さん、津留留監督

国民健康保険事業に貢献 田尻守正さん

田尻医院の田尻守正(関町)さんは国民健康保険事業の功労者として、10月18日に厚生労働大臣から表彰を受けました。11月30日、町役場で行われた国保・介護運営協議会で、佐藤町長から表彰状と記念品を伝達されました。

田尻さんは、町医として地域の医療にご尽力いただくとともに、平成3年10月から町国保運営協議会委員として約27年間、町の国民健康保険事業の発展に貢献されています。

田尻さんは「今回の受賞を大変光栄に思います。今後も町の福祉のためにできる限り協力したい」と述べました。



表彰を受けた田尻さん

お米“にこまる”が九州一に 原靖さん

有限会社原農場の原靖さん(関下)は11月20日、佐藤町長を訪問し、第2回九州のお米食味コンクールin菊地で個人総合部門最高金賞を受賞したことを報告しました。

選定方法は、出品数1,571検体の中から、食味分析計というお米の美味しさの成分を数値的に図る機械により30検体が選ばれ、その後審査員30人の実食による味審査で賞が決定。原さんの作る「にこまる」という品種のお米は、見事九州一に輝きました。

このお米は、昨年の同大会出品後から1年かけて植えつけや収穫法の見直しを行い、改良を重ねて再び挑んだ結果、今回の受賞となりました。

原さんは「お米に自信はありましたが、まさか最高賞をいただけるとは思いませんでした」と喜びを語りました。



受賞した原さん(中央)と農場長の森勇次さん(左)

河川の美化活動に貢献 松本文夫さん

松本文夫さん(久重)は11月22日、佐藤町長を訪問し、菊地川流域同盟功労者として表彰を受けたことを報告しました。

松本さんは、11年間に渡り町の水援隊員として、関川はじめ菊地川流域の河川の環境の保全と啓発のために大きく貢献しました。

水援隊は、河川を綺麗にしていくための地域のリーダーとして定期的な水質検査や美化活動を行っています。

松本さんは「みなさんのおかげで関川も11年前より随分きれいになりました」と当時を振り返り、「今後も一町民として環境美化保全のために積極的に協力していきたい」と抱負を述べました。



表彰を受けた松本さん